

2017年12月期 第2四半期累計 決算説明資料

2017年8月10日

ユニ・チャーム株式会社

代表取締役 社長執行役員

高原 豪久

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

また、本日付「過年度決算に関する調査のお知らせ」に記載のとおり、2016年12月期以前の過年度における会計処理の適正性について調査を行っておりますが、現時点におきましては、当四半期決算には重要な影響はないものと判断しております。ただし、本資料に記載されている前第2四半期連結累計期間（2016年1月1日～2016年6月30日）に係る数値については、訂正の要否は現時点では不明であり、調査の進展次第では、訂正がなされる可能性があります。これらの数値は過去に公表済の数値を便宜的に記載しており、当該数値との比較情報を記載しておりますが、上記の状況にあるため、これらの情報は投資判断の基礎とはされないようお願いいたします。

● 連結業績(増収増益)

- ✓ 売上高3,019億円(1.5%増収)、コア営業利益389億円(6.6%増益 過去最高益)
- ✓ 第2四半期累計予想に対し、売上高、利益ともに達成、年間予想に対しても順調に進捗

● 日本業績(増収増益)

- ✓ ヘルスケア事業を中心に安定的な成長、中国への輸出が好調であり継続的な収益性改善
- ✓ ペットケア事業での付加価値商品の展開と内製化による大幅な収益性改善

● 海外業績(増収減益)

- ✓ インド、ベトナム、台湾はアジアの増収に大きく貢献
- ✓ 中国では積極的なマーケティング投資を実施し、輸入品紙おむつや、パンツ型紙おむつ、生理用品が好調に推移
- ✓ インドネシアでは収益性を改善しながら圧倒的な市場シェアを維持
- ✓ アジアの減益の主要因はタイにおける第1四半期の物流トラブルが影響→現状はトラブル解消
- ✓ 北米ペットケア事業では日本の技術を搭載した商品が好調に推移し増収増益

● 通期予想(公表値)

- ✓ 今後の環境変化等のリスクを想定し、通期予想の変更はなし

● 株主還元

- ✓ 自己株式取得 140億円 511万株取得
- ✓ 配当金 年間18円実施予定(2円増配)

2017年12月期 第2四半期累計 決算概要

1.5%増収、6.6%営業増益(過去最高益) 売上高、利益ともに第2四半期累計予想を達成



■ 連結決算ハイライト

(百万円)

	‘16/12月期 2Q累計	‘17/12月期 2Q累計	増減額	増減率	(計画) ‘17/12月期 2Q累計	達成率
売上高	297,429	301,980	+4,551	+1.5%	299,000	101.0%
コア営業利益 (利益率)	36,541 (12.3%)	38,941 (12.9%)	+2,400	+6.6% (+0.6%P)	34,000 (11.4%)	114.5%
税引前四半期利益 (利益率)	30,819 (10.4%)	38,429 (12.7%)	+7,610	+24.7% (+2.3%P)	32,000 (10.7%)	120.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (利益率)	19,682 (6.6%)	25,198 (8.3%)	+5,516	+28.0% (+1.7%P)	20,800 (7.0%)	121.1%
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.04	42.80	+9.76	+29.5%	—	—
USDレート(円)	111.81	112.37	+0.56	+0.5%	110.00	—
中国元レート(円)	17.07	16.39	-0.68	-4.0%	16.30	—

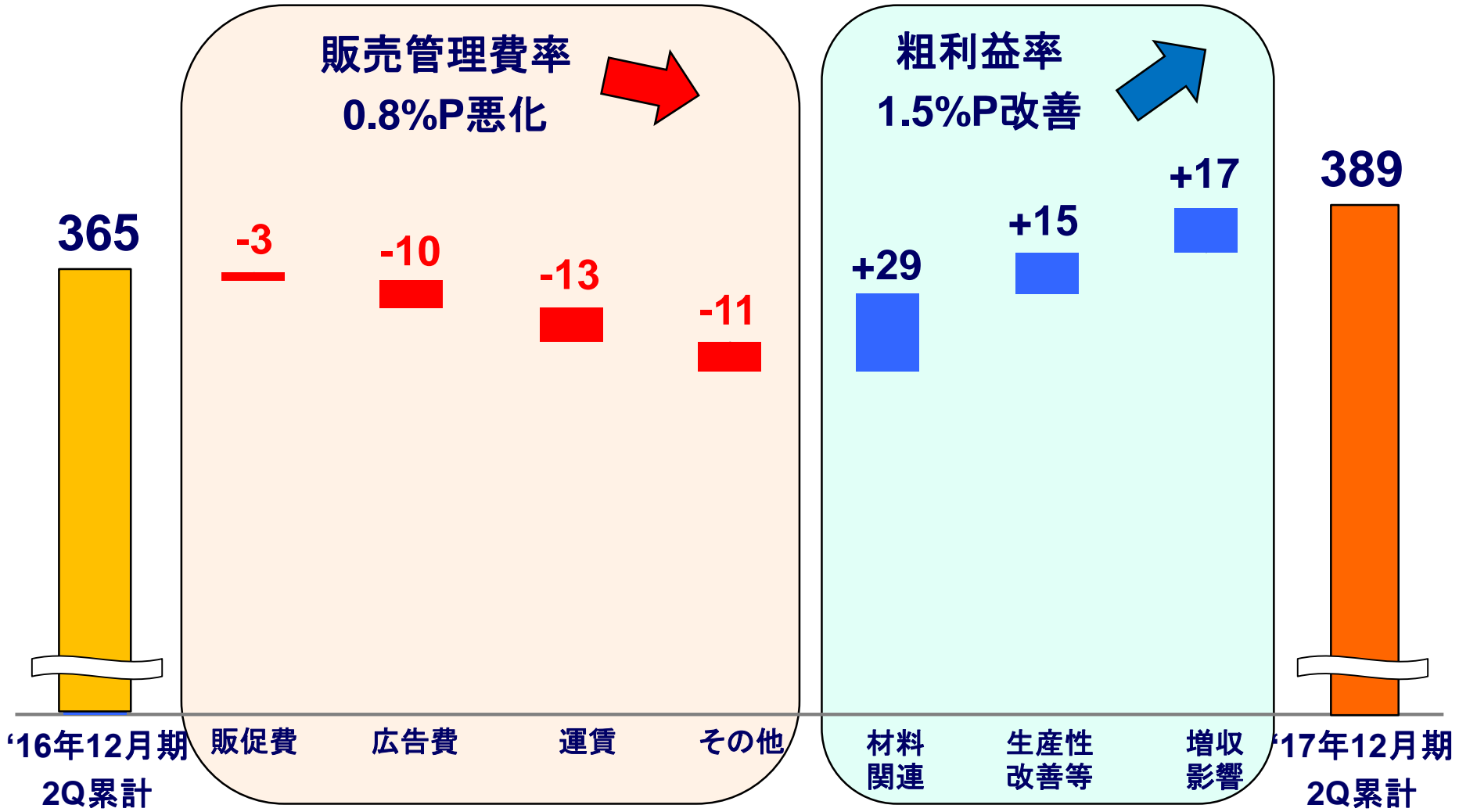
※ ‘17年度よりIFRSを適用。‘16/12月期2Q累計はIFRSに基づき算定。

アジアでの積極的なマーケティング投資の効果により、売上数量増となり、原材料価格変動の好影響等もあり24億円増益



■ コア営業利益増減

(億円)



日本では、ヘルスケア事業、ペットケア事業が業績を牽引
アジアでは、インド、ベトナム、台湾が大きく増収に貢献
タイでの物流トラブルが影響し減益

■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

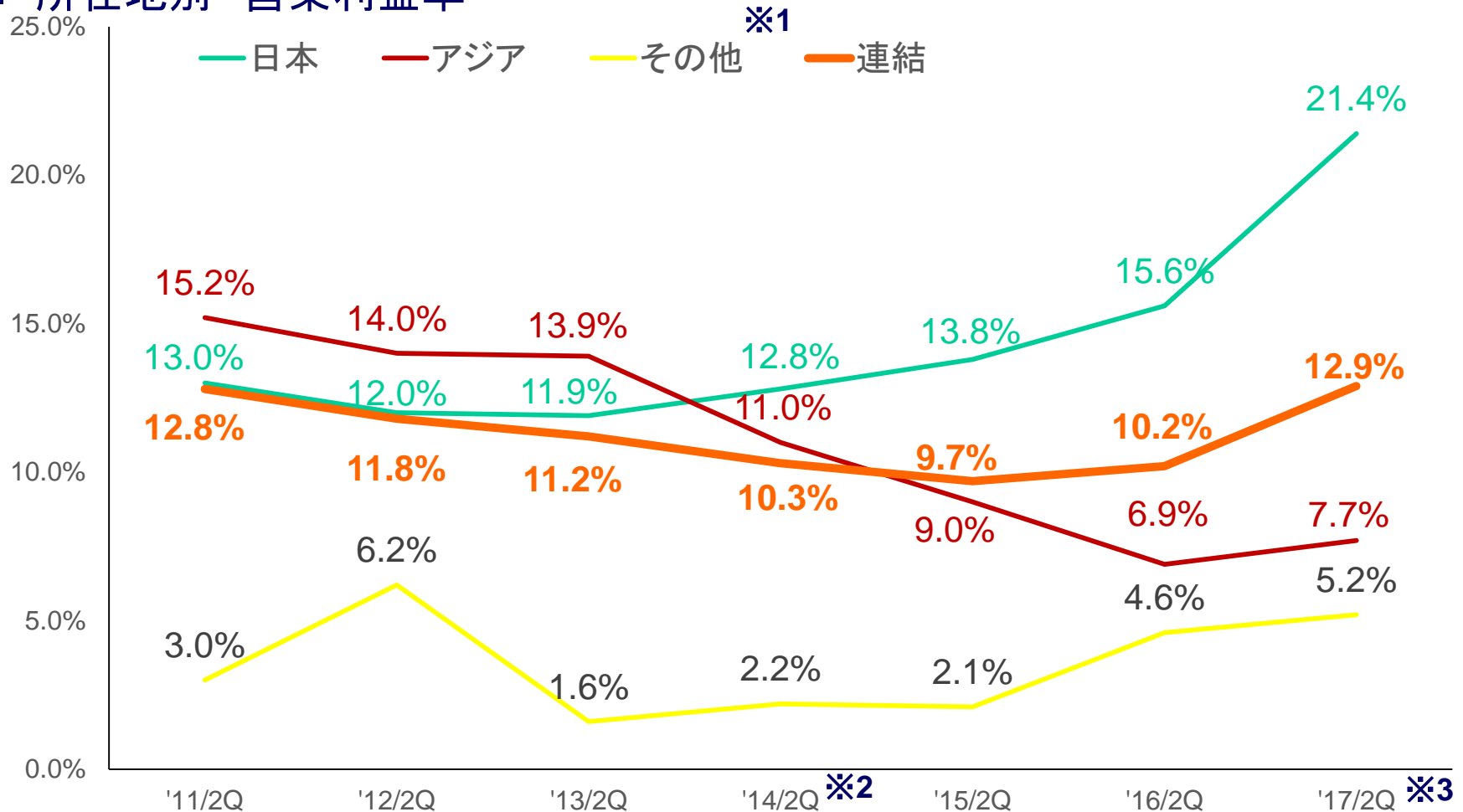
		'16/12月期 2Q累計	※1 '17/12月期 2Q累計	増減額	増減率	(参考) 実質 増減率
日本	売上高	120,348	122,690	+2,342	+1.9%	—
	コア営業利益	23,100	26,199	+3,099	+13.4%	—
	(利益率)	(19.2%)	(21.4%)		(+2.2%P)	—
アジア	売上高	127,956	129,815	+1,859	+1.5%	+1.4%
	コア営業利益	10,742	10,037	-705	-6.6%	-6.6%
	(利益率)	(8.4%)	(7.7%)		(-0.7%P)	—
※2 その他	売上高	49,124	49,474	+351	+0.7%	+3.4%
	コア営業利益	2,501	2,556	+55	+2.2%	+2.4%
	(利益率)	(5.1%)	(5.2%)		(+0.1%P)	—
調整額等	売上高	—	—	—	—	—
	コア営業利益	198	149	-49	—	—
	(利益率)	—	—		—	—
連結	売上高	297,429	301,980	+4,551	+1.5%	+2.0%
	コア営業利益	36,541	38,941	+2,400	+6.6%	+6.5%
	(利益率)	(12.3%)	(12.9%)		(+0.6%P)	—

※1: '17年度よりIFRSを適用。実質増減率は為替変動を除く増減率。'16/12月期2Q累計はIFRSに基づき算定。

※2: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

日本では、高付加価値化による商品ミックスの改善 アジアでは、主にインドが改善、中国等での積極的なマーケティング投資、タイの物流トラブルもあり収益性改善は鈍化

■ 所在地別 営業利益率



※1: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

※2: 決算期変更により変則的な決算となっております。

※3: '17/2Qは、IFRSベースのコア営業利益率。

ペットケア事業は 北米では、高付加価値商品へのシフトが進み収益性改善 国内でも、高付加価値化による単価UPで収益性改善

■ 事業別セグメント情報

(百万円)

		'16/12月期 2Q累計	※1 '17/12月期 2Q累計	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	258,815	261,051	+2,237	+0.9%
	コア営業利益	33,877	34,629	+751	+2.2%
	(利益率)	(13.1%)	(13.3%)		(+0.2%P)
ペットケア	売上高	35,638	37,770	+2,133	+6.0%
	コア営業利益	2,467	4,424	+1,957	+79.3%
	(利益率)	(6.9%)	(11.7%)		(+4.8%P)
※2 その他	売上高	2,996	3,174	+179	+6.0%
	コア営業利益	197	-112	-309	—
	(利益率)	(6.6%)	—		—
調整額等	売上高	-19	-17	+2	—
	コア営業利益	0	0	0	—
	(利益率)	—	—		—
連結	売上高	297,429	301,980	+4,551	1.5%
	コア営業利益	36,541	38,941	+2,400	6.6%
	(利益率)	(12.3%)	(12.9%)		(+0.6%P)

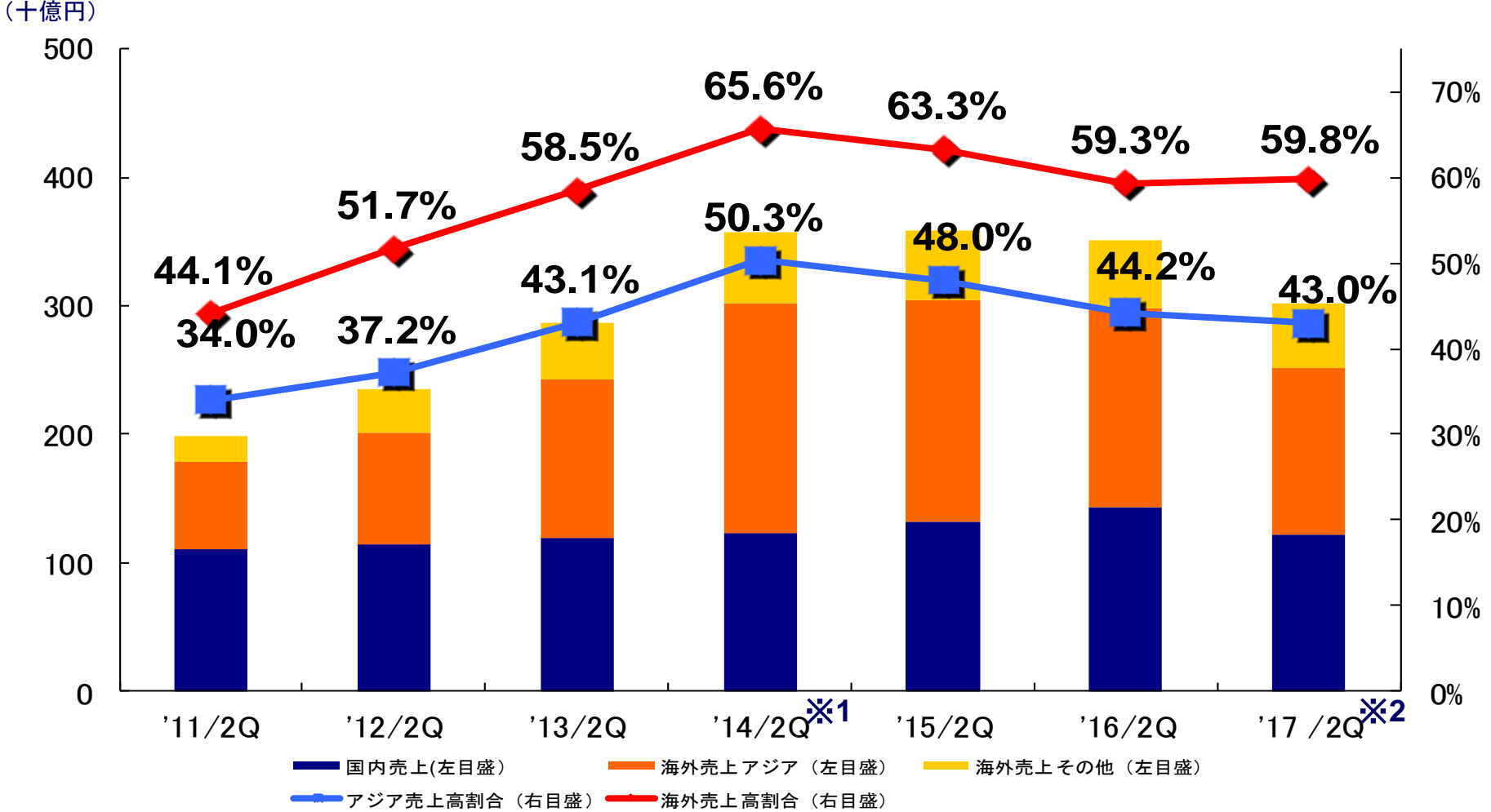
※1: '17年度よりIFRSを適用。'16/12月期2Q累計はIFRSに基づき算定。

※2: その他は産業用資材関連商品等。

海外売上高構成比は59.8% (為替影響を除くと59.9%)



国内・海外売上高推移



※1: '14/2Qは決算期変更により変則的な決算となっております。

※2: '17年度よりIFRSを適用。

為替変動の影響は 売上高 約13億円減、コア営業利益 約0.3億円増

■ 通貨別変動推移

通貨	'16/12期2Q累計レート	'17/12期2Q累計レート	増減率
中国(CNY)	17.07	16.39	-4.0%
インドネシア(IDR)	0.0084	0.0085	+1.2%
タイ(THB)	3.15	3.24	+2.9%
サウジアラビア(SAR)	29.86	30.01	+0.5%
インド(INR)	1.68	1.73	+3.0%
ベトナム(VND)	0.0050	0.0049	-2.0%
米国(USD)	111.81	112.37	+0.5%
台湾(TWD)	3.41	3.67	+7.6%
オランダ(EUR)	124.62	121.64	-2.4%
韓国(KRW)	0.0946	0.0987	+4.3%
オーストラリア(AUD)	81.90	84.79	+3.5%
マレーシア(MYR)	27.25	25.61	-6.0%
エジプト(EGP)	13.27	6.28	-52.7%
ブラジル(BRL)	30.21	35.37	+17.1%
ロシア(RUB)	1.60	1.94	+21.3%

企業価値向上に向けて

ユニ・チャームの目指すリサイクルシステム



- ✓ 特許第6061875号は、使用済みの紙おむつにオゾン処理を用いることで、高分子ポリマーの使用済み紙おむつからの分離、使用済み紙おむつからのパルプ繊維の取り出し、パルプ繊維の殺菌および消毒を同時に実現する処理方法に関するものであり、本技術を用いることで使用済み紙おむつから衛生的で安全な上質パルプを効率良く再資源化することが可能

『陣痛タクシープロジェクト』に協賛

- Moonyを日本交通『マタニティギフト※』に提供



※妊婦さんをサポートする日本交通の「陣痛タクシープロジェクト」に賛同した14社が提供する育児のスターターキット。出産・子育てに役立つグッズや情報などをまとめたファイルを、オリジナルの配送用ボックスに梱包して、「陣痛タクシー」登録者へ無料にてお届け

地域活性化支援

- 静岡県掛川市と災害対策や子育て支援、健康増進など7分野における『包括連携協定』を締結
- 福島市と『災害時における物資の供給協力に関する協定』を締結
- 福岡、熊本、香川等でも協定を締結



認知症予防支援

- “目的”を持って“社会”と触れ合う認知症予防プログラム『ソーシャル・ウォーキング』を東京、大阪に続き、静岡で開催
- 新入社員研修に『認知症サポーター養成講座』の受講を導入



社員参加による継続的な復興支援





- 社員参加による震災義援金『マッチングファンド※1』
- 労働組合主催によるチャリティイベント『ゆにゆに落語会』開催 全額をみちのく未来基金様※2に寄付



※1「被災地支援」を目的に創設。社員が着用するオリジナルポロシャツやジャンパー、グッズなどを社内で販売。社員の購入した代金相当額と同額を寄付する制度

※2東日本大震災で親を亡くした子どもたちの高校卒業後の進学支援のための奨学基金として2011年に設立

社員の健康維持と生産性向上を目的としたこれまでの取り組み

- 生産性向上と女性の活躍をテーマに働き方改革を推進する『働き方改革推進室』の新設 
- 疲労蓄積防止による健康維持と生産性を向上を目的とした『インターバル勤務制度』の導入 
- 生産性の向上・創造性を発揮する『在宅勤務制度』の導入 
- 社員のモチベーションをさらに高めるのと同時に個人の成長が会社の成長を牽引する環境に整える報酬制度の改定 

- ブランド名を取り入れた育児・介護支援制度へ改定

moony		GIRL	
改定前	改定後	改定前	改定後
育児休業・育児短時間勤務制度	Moony育児支援制度	介護休業・介護短時間勤務制度	ライフリー介護支援制度
産前産後休暇	Moony産前産後休暇	介護休業	ライフリー介護休業
育児休業	Moony育児休業	介護休暇	ライフリー介護休暇
こども看護休暇	Moonyこども看護休暇	介護短時間勤務	ライフリー介護短時間勤務
育児短時間勤務	Moony育児短時間勤務		
バースサポート休業	Moonyバースサポート休業	改定前	改定後
		生理休暇	ソフィ休暇
ユニチャーム ペットケア	改定前	改定後	
	規程なし	特別休暇：自宅で飼育していたペット(犬・猫)の死亡 1日	

新たな取り組みとして

『プレミアムフライデー』への賛同

- 仕事と生活両方の質の向上を目指して



飼育していたペット(犬・猫)の死亡休暇

制度一覧表

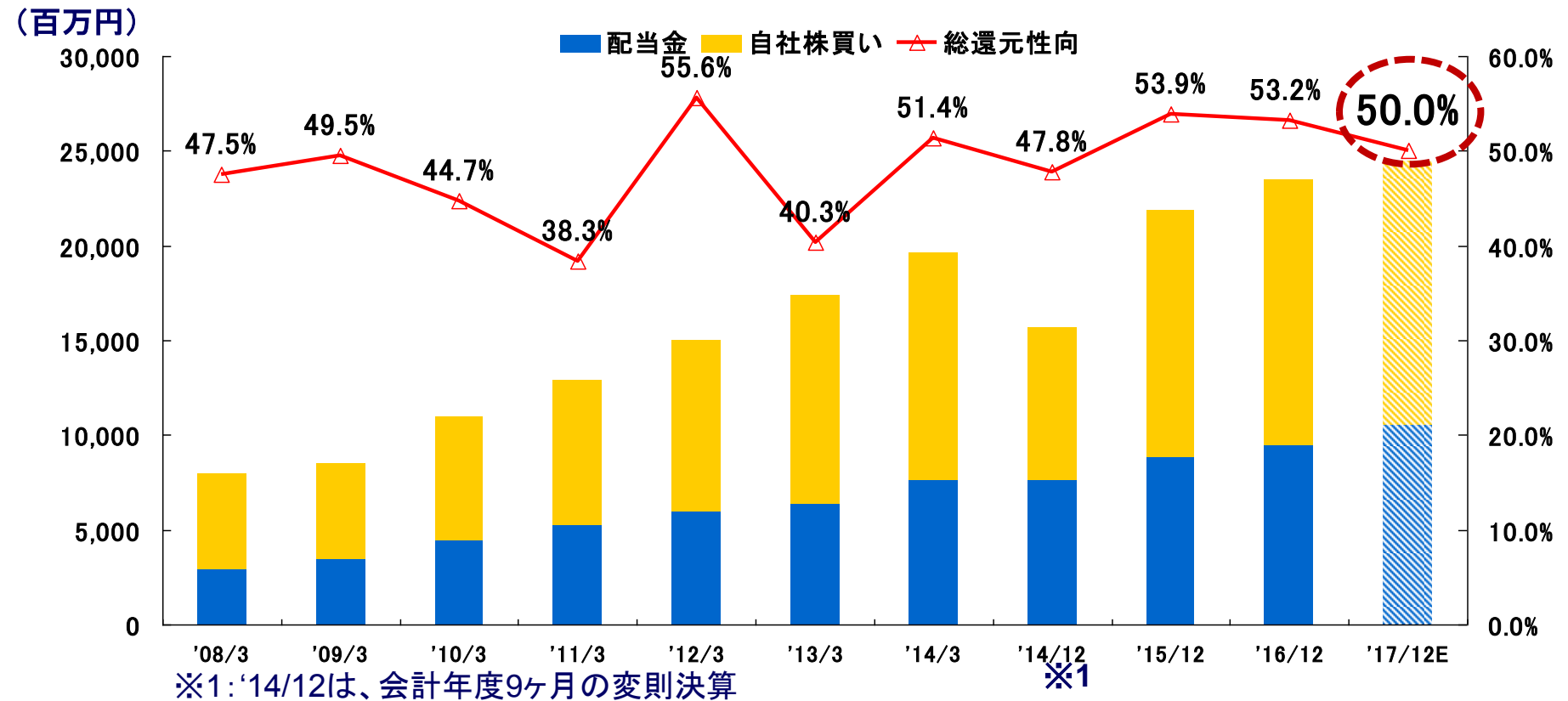
改定前	改定後
規程なし	特別休暇：自宅で飼育していたペット(犬・猫)の死亡 1日



株主還元政策

業績に連動した配当と自己株式の取得により 2017年度も増配を継続、総還元性向50%を予定

■ 株主還元政策

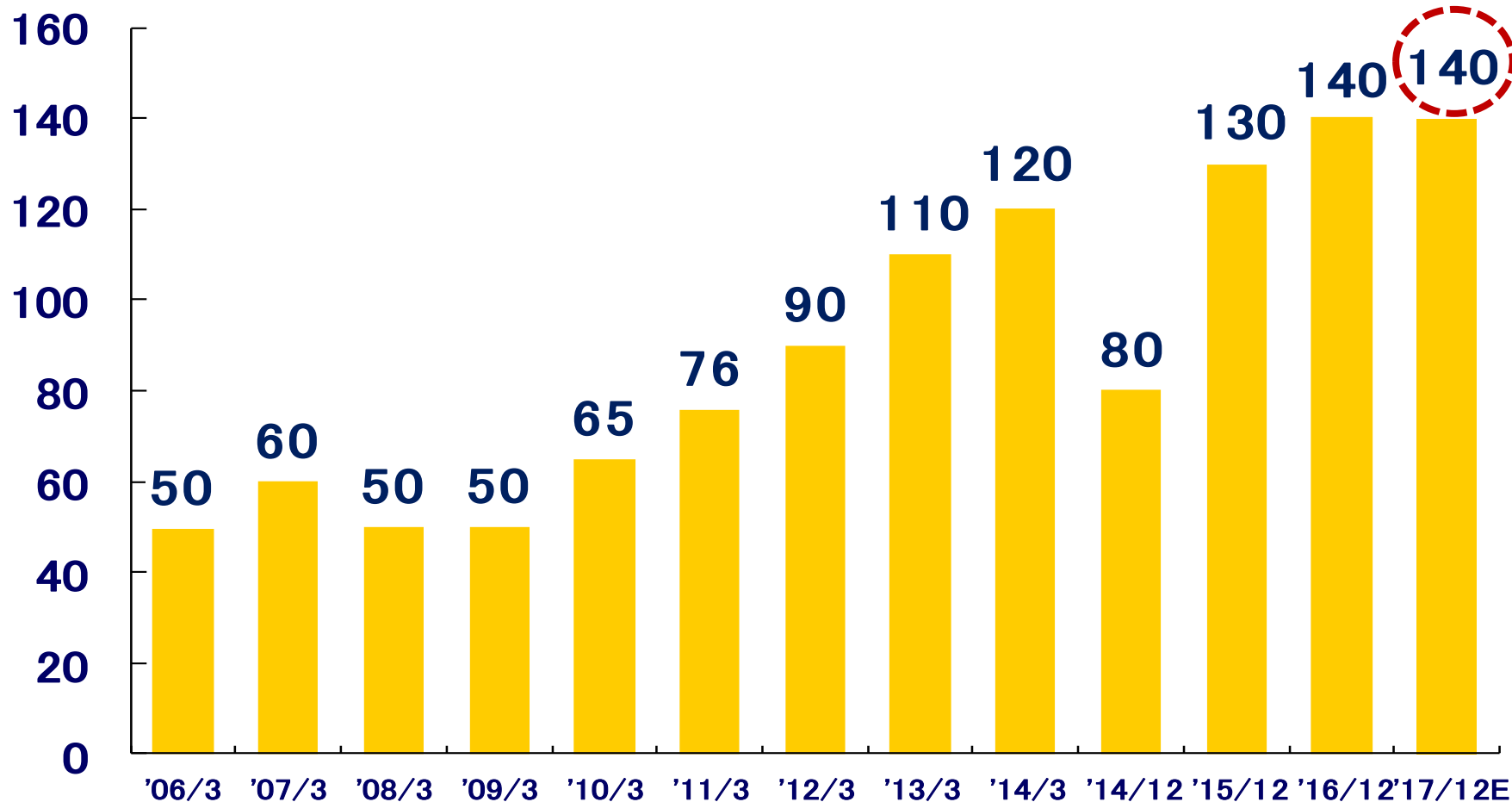


継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**(配当性向20%目処)に利益還元を図っております。

キャッシュの状況に応じて機動的に自己株式を取得予定 既に'17/6期で 140億円、511万株を取得

■ 自己株式取得の推移

(億円)



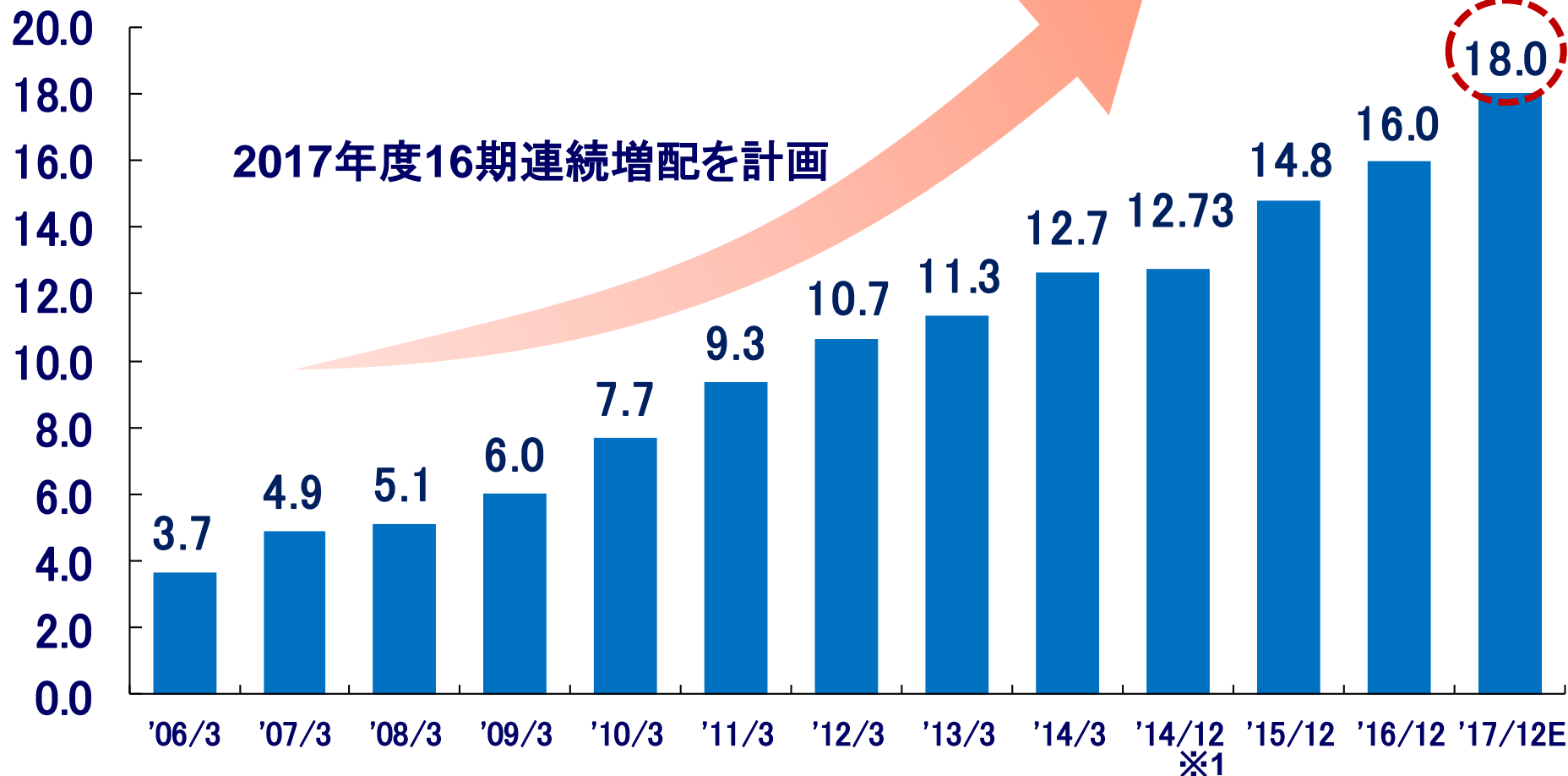
※1: '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算

※1

安定的かつ継続的な増配を実施 16期連続増配を計画

■ 1株当たり配当金の推移

(円)



※1: '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算



ユニ・チャームは
全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる“共生社会”の
実現に寄与するために、
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供しつづけます。